

救命救急科・高度救命救急センター

救命救急科・高度救命救急センターでは、臓器や重症度にかかわらず、また内因性・外因性を問わず、様々な疾患の患者さんの初療から集中治療、そして退院までを一貫して診ることができます。

救急対応の技術と集中治療の知識は、どの科に行っても役に立つはず！

【習得・経験できる知識・手技】

- ・日々搬送される救急患者の初期診療～適切な評価と処置の考え方を習得出来る
- ・心停止症例に対する確実な一次・二次救命処置を習得出来る（胸骨圧迫、気管挿管、薬剤投与、電氣的除細動、etc）
- ・通常の一次・二次救命処置では心拍再開しない症例に対する体外循環式心肺蘇生法（ECPR）を経験できる
- ・気管切開、CVカテーテル挿入、胸腔ドレーン挿入等の数多くの手技を経験できる
- ・人工呼吸管理や腎代替療法などの人工補助療法を、実際に機器に触れながら学ぶことができる
- ・重症患者の治療を総合的に学ぶことができる
- ・RRT（Rapid Response Team）として院内急変の現場に駆けつけることで、急変対応の経験を積めるばかりでなく、急変予防について理解出来る
- ・ドクターヘリに搭乗して救急現場に出動し、病院前診療の最前線を体験できる

【スケジュール】

8:15～朝カンファレンス

救急外来担当：救急患者対応をチームで行う

救命センターICU担当：入院患者に対する集学的治療を全力で行う

16:30～タカンファレンス

【HPアドレス】 <https://www.oita-atec3.jp/index.html>

【連絡先(担当者)】 教育医長 黒澤慶子 kurokei@oita-u.ac.jp

※救急外来、高度救命救急センターICU、どちらでも希望に応じて調整します！

※ドクターヘリに搭乗可能です！

